

特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)

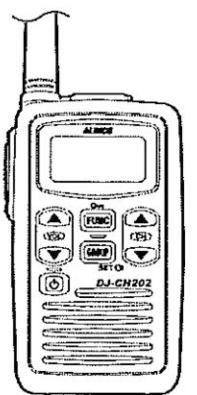
DJ-CH202

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

RoHS

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。



アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-4 日本橋プラザビル14階 TEL:03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10-19 サンエイビル4階 TEL:052-212-0541
大阪支店 〒541-0003 大阪市中央区北堀町4丁目4-9 泉屋ビル13階 TEL:06-7636-2381
福岡支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2丁目13-34 エコーピル10階 TEL:092-479-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル 010-020-464-007

お問い合わせ窓口: 10:00~17:00(月~金曜)(祝祭日及び12:00~13:00は休まず)

ホームページ <http://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」をご覧ください。

PS0933SA
FNL-NJ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな禁示表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
△	記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
○	記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋賠償責任につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめ了承ください。

警告

■ 使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台を使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台を使用しないでください。交通事故の原因となります。

運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通事故法違反で罰せられます。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。

運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通事故法違反で罰せられます。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限（3分以上は連続で送信できません）

送信、受信あわせて3分以内です。

10秒前に警告音がなります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。

注意 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒経たないと次の送信はできません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときはPTTキーを押しても送信できません。受信中にPTTキーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ピーピ音をOFFにしているとアラーム音は鳴りません。

付属品と取り付け方

付属品をご確認ください

- 充電器
- ACアダプター
- リチウムイオンバッテリーパック
- ベルトクリップ（ネジ1本）

□取扱説明書

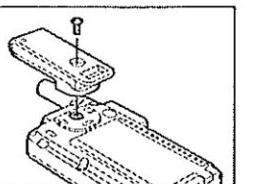
□保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書・レシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップをネジで本機の背面に取り付けます。

注意 ネジは必ず専用品をご使用ください。また、定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペア部品として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。
ネジ付きベルトクリップ：EBC-28



電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。

病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。無線機を使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。風通しの悪い場所には置かないでください。

火災・感電・故障の原因となることがあります。

お客様による修理は、違法で絶対にお止めください。

■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき

■落としたとき、ケースを破損したりしたとき

■内部に水や異物が入ったとき

■ACアダプターのコードが壊んだとき（芯線の露出や断線など）

電気が鳴いたら安全のため本体の電源をOFFにし、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場、あらかじめ音量を下げてください。勝手に騒ぐ原因になります。イヤホンを耳に装着する際、静電気が放電することがあります。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。

充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因になります。

充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金具などが触れる、火災・感電・故障の原因となります。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■充電器の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

イヤホン／マイクロホン端子にはオプションのイヤホン／マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となります。

イヤホンマイクなどのケーブルは、時々軽く湿らせた布で拭いてください。汗はケーブルを劣化させる原因になります。

長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

注意

■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。

火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

本体や充電器のケーブルは、聞けないでください。火災・感電・故障の原因となります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

汚れた場合は柔らかいきれいな布で拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外殻や文字が変色する恐れがあります。

洗浄剤などを直接無線機に吹き付けてください。機器内部に浸透し故障の原因となります。

製造番号ラベルをはがさないでください。

製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

イヤホンマイクなどのケーブルは、時々軽く湿らせた布で拭いてください。汗はケーブルを劣化させる原因になります。

Copyright reserved. Alinco, Inc.
Printed in China.

■充電器の取り扱いについて

充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

充電器のACアダプターを器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

充電器のACアダプターをACコンセントから抜いてください。

本体や充電器のコードは、聞けないでください。火災・感電・故障の原因となります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

汚れた場合は柔らかいきれいな布で拭いてください。

ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外殻や文字が変色する恐れがあります。

洗浄剤などを直接無線機に吹き付けてください。

機器内部に浸透し故障の原因となります。

製造番号ラベルをはがさないでください。

製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

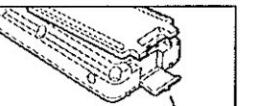
イヤホンマイクなどのケーブルは、時々軽く湿らせた布で拭いてください。汗はケーブルを劣化させる原因になります。

Copyright reserved. Alinco, Inc.
Printed in China.

バッテリーパックの装着

①カバーを開ける

ロックを外してカバーを開けます。



②バッテリーパック

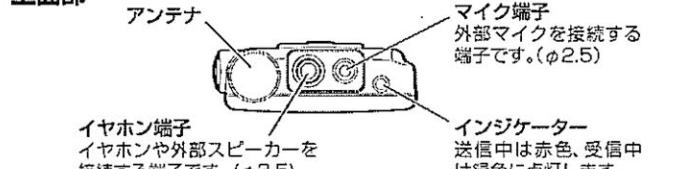
各部の名前とはたらき

前面部

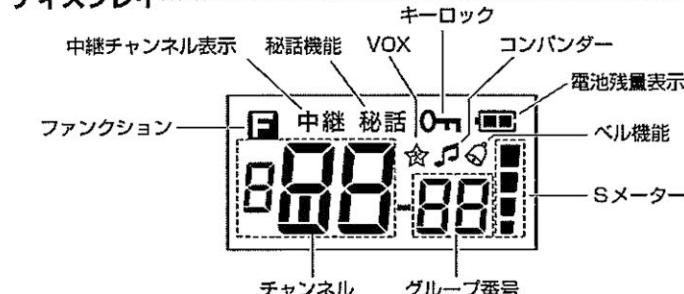


注意 マイク部にシール類を貼り付けないでください。相手に通話音声が聞こえなくなります。

上面部

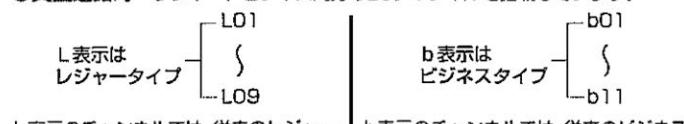


ディスプレイ



チャンネル表示について

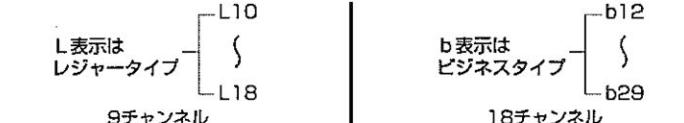
●互通話時 レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。



L表示のチャンネルでは、従来のレジャー

タイプ(9チャンネル機)と通信できます。

●中継通信時 レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。



セットモード

各種機能を用途や好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

- ① [FUNC]キーを押しながら[GROUP]キーを押します。
- セットモードに入り、項目が表示されます。
- ② [GROUP]キーを押すごとに項目が切り替わります。
- [FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
- ③ CH[▲/▼]キーを押して設定値を変更します。
- ④ [PTT]キーを押して設定を完了します。

メモ セットモードについての詳しい内容や、本書に記載していない上級セットモードについては弊社ホームページをご覧ください。[http://www.alinco.co.jp/「電子事業」](http://www.alinco.co.jp/)

注意 [FUNC]キーを押はじめたらすぐに[GROUP]キーを短く押してください。[FUNC]キーを長く押す、または[FUNC]キーと[GROUP]キーを同時に長く押すとキーロックする操作になりますのでご注意下さい。

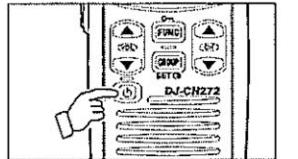
基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

互通話

■電源を入れる

[ON]キーを約2秒間押します。
電源を切ることも同じ操作をします。



■音量を調整する

VOL[▲/▼]キーを押す

ディスプレイに音量レベル「vol-15」が表示されます。
キーを押すと「ピッ」という音が聞こえますので適切な音量に調整してください。
音量調整は0~30の31段階で、初期状態は「15」に設定されています。



■チャンネルを合わせる

CH[▲/▼]キーを押す

通話したいトランシーバーすべてを同じチャンネルに合わせます。L(レジャー)、b(ビジネス)の表示に注意して合わせてください。

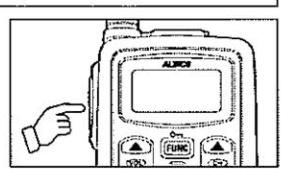
メモ キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。
CH[▲/▼]キーを同時に押すと「ザ」というノイズが聞こえ音量の目安となります。適切な音量に調整してください。



■受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。
インジケーターが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

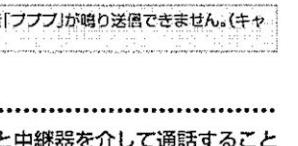
メモ 本機にはテールノイズキャンセラ機能を搭載しており受信終了時の「ザ」というノイズが低減されています。
(テールノイズキャンセラ機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)



■送信する

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。



■送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。

インジケーターが赤色に点灯し、Sメーターも同時に点灯します。

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

注意 一定の強度以上の信号を受信しているときは、警告音「ブブ」が鳴り送信できません。(キャリアセンス)

[PTT]キーを離すと、受信待ち受け状態になります。

中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途弊社製の中継器が必要です。

■チャンネルを合わせる

CH[▲/▼]キーを押す

中継通話用チャンネルのL10~L18, b12~b29を選択します。

→「中継」が点灯します。



■送信する

[PTT]キーを押し続けます。

→直後に「ピッ」という音が鳴ります。

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ お使いになる中継器の設定をご確認ください。
中継器にグループトーカ機能が設定されている場合は、本機もグループトーカ機能を設定し、グループ番号も合わせてください。

注意 中継用チャンネルでは、子機同士の直接通話はできません。

それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。

子機一中継器間・子機一子機間は10m以上離してください。

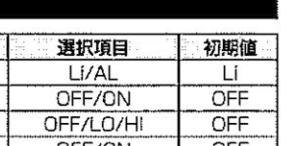
メモ 「電源が入らない」「オノオフを繰り返す」「ディスプレイの表示が消える」などの症状が出た場合
も電池の消耗が考えられるため、バッテリーを充電、もしくは新しい電池と交換してください。

リセット

設定状態がわからなくなったりときに初期化します。

[FUNC]キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイ全点灯中に[FUNC]キーを離します。

工場出荷状態の「L01」になります。



その他の機能

本書に記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
[http://www.alinco.co.jp/「電子事業」](http://www.alinco.co.jp/)

メモ デュアルオペレーションモード

メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

メモ エンドビー(送信終了音)は送信側から発せられるため、機能をON/OFFする際は送信側

機器を設定してください。

メモ エンドビー(送信終了音)は送信側から発せられるため、機能をON/OFFする際は送信側

機器を設定してください。

故障とお考えになる前に

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 表示が消える。	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 バッテリーパックを充電してください。
電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。	
音が出ない。 受信しない。	音量が低すぎる。 チャンネルが違う。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。 同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。 3分の通信時間制限を超過している。	信号がなくなつてから送信するか、チャンネルを変更してください。 [PTT]キーを離し、2秒経過してから送信してください。
PTTオンオフ機能がOFFになっている。	PTTオンオフ機能をONに設定している。	PTTオンオフ機能をONに設定してください。
キー操作できない。	キー操作がロックされている。	キー操作を解除してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭いてください。
バッテリーパックがきちんと充電されていない。	バッテリーパックを正しく入れ直してください。	バッテリーパックを正しく入れ直してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗しているときに誤動作することがあります。バッテリーを充電もしくは新しい電池に交換してください。

生産終了製品に対する保守年限について

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。

不測の事態により在庫がなくなり、修理ができない場合もありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-80	リチウムイオンバッテリーパック (3.7V 980mAhスペア)
EDC-182	充電スタンド (スペア)
EDC-139	A/Cアダプター (スペア)
EMS-59 (※1)	スピーカーマイク
EAE-46A	ヘッドセット
EAE-6	ストレートコードイヤホン (オープンエア)
EAE-26	カールコードイヤホン (オープンエア)
EAE-50	ストレートコードイヤホン (耳かけ型)
EAE-52A	イヤホンマイク (オープンエア)
EAE-53A (※2)	ヘルメット完ヘッドセット
EAE-34A	イヤホンマイク (カナル型)
EAE-21A	イヤホンマイク (グレー)
EAE-21AB	イヤホンマイク (ブラック)
EAE-49A	イヤホンマイク (オープンエア)
EAE-39A	咽喉イヤホンマイク
EAE-29A	イヤホンマイク (耳かけ型)
EAE-57A	イヤホンマイク (カナル型耳かけ)
EAE-30A	イヤホンマイク (ブーム型)
EAE-51A	イヤホンマイク (耳かけ型)
EAE-31A	イヤホンマイク (マイクロ)
ESC-55	ソフトケース
EDH-38	乾電池ケース

(※1) スピーカーマイクは、PTTホールド機能、VOX機能が使用できません。

(※2) バイク用ヘルメットには使用できません。

定格

送受信周波数	レジャー・チャンネル	421.8125 ~ 421.9125MHz(受信) 422.2000 ~ 422.3000MHz(送信)
	ビジネスチャンネル	421.5750 ~ 421.7875MHz(受信) 422.0500 ~ 422.1750MHz(送信)
周波数制御		421.8000MHz(受信) 440.2500MHz(送信)
電波形式		F3E(FM)/F1D(FSK)
送信出力		10mW/1mW
受信感度		-14dBu (12dB SINAD)
音声出力		100mW以上
通信方式		単信方式、半復信方式
定格電圧		DC 3.7V / 4.5V
動作温度範囲		-10°C ~ +50°C (但し充電は0°C ~ +40°C)
寸法		55(W)×93.8(H)×18.8(D)mm (突起物除く) アンテナ長さ150mm/ミドル72mm/ショート36mm
重量		約110g (バッテリーパック含む)

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。